霊長類

霊長類はチンパンジーやゴリラなどサルの仲間のことを言う。
(人間もだよ!)

京都大学霊長類研究所

霊長類についての研究をしている。サルたちがどのようにみて考えているのかなど様々な物、道具などを使って研究している。

日本モンキーセンター

サル類の総合的研究 野生ニホンザルの保護などの目的で設立された。サル類の特徴を生かした展示などを行っている。

友永先生の講義より

☆チンパンジーとボノボ

チンパンジーは…

♡むれの中は仲良し

しかし…

バチバチ

♡むれ同士はてき!

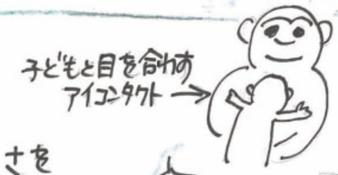
ボノボは…
むれ同士も仲良しで、むれが合体してしまうことも

むれのまとまりが強いということ!

自分の強さをアピールしている

(人間らしさがよく分かる!)

チンパンジーもさまざまな文化をもっている

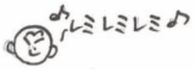


おもしろい!チンパンジーの研究

① 1人で
コンピューターを使って行う
1. 1〜9までの数をおぼえる
2. テストをする

10秒くらいで解けていた! すごい! 人間にはできない!

② 2人以上で
③ 音を使う
1. 音を聞かせると…



その音に合わせてひこうとする。

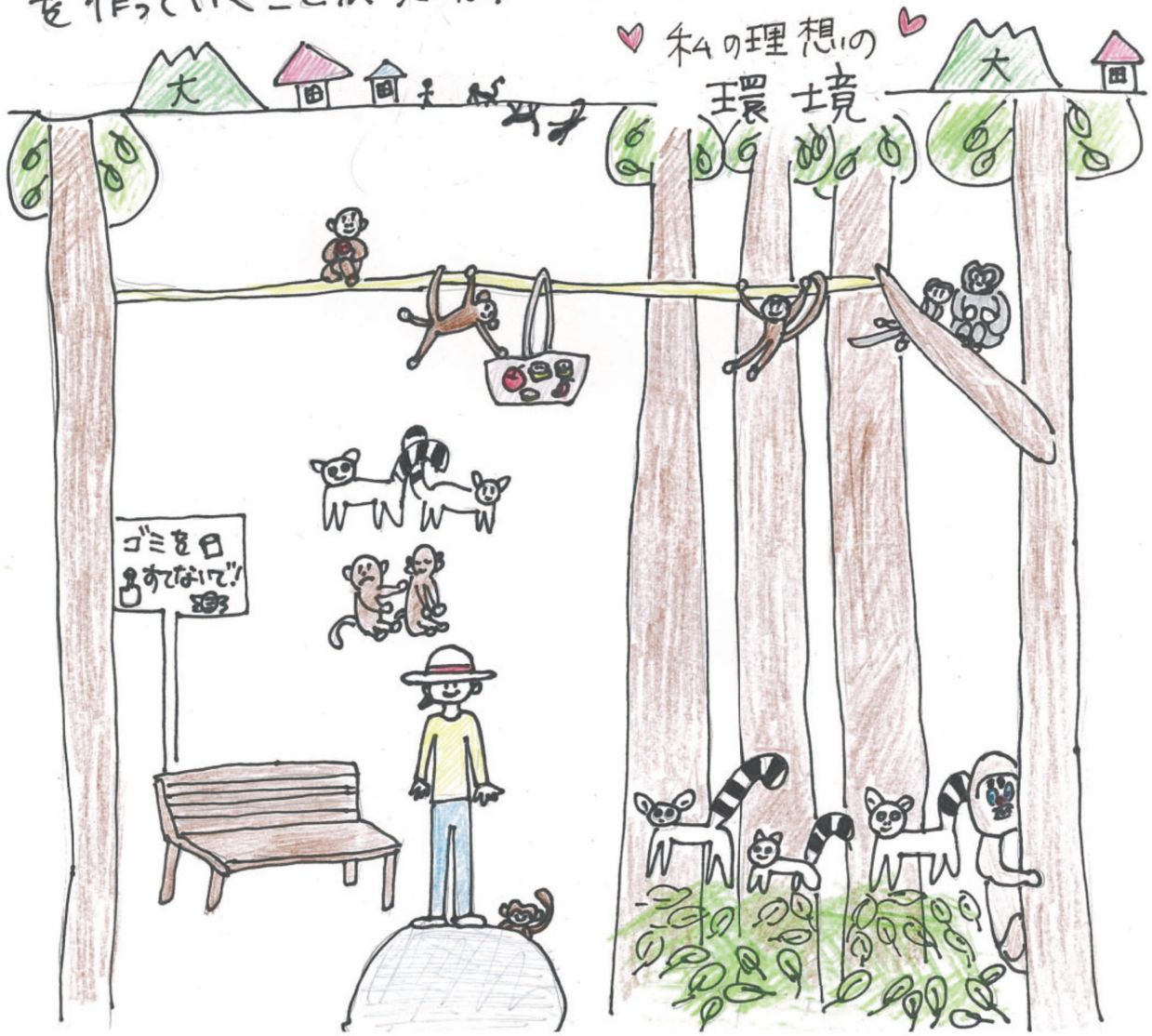
外の音に合わせようとする。人間もそうだね。

①と③からは、人間にもチンパンジーにもある能力とどちらかにしかない能力がある。そんなことをもとに研究をしている。

☆日本モンキーセンターでの工夫 (エンリッチメント)

野生のサルたちに近づけるため、木にエサをかくしたり、食べ方をまねさせたりしている。そうすることで野生のサルの生活に近づけられる。

ぼうを使ってエサをとる。

〈感想〉

先生方の話を聞いて モンキーたちと私たち人間はにている所もあれば、にていない所などがあることが分かりました。
モンキーセンターでは、サルの赤ちゃんが一生けん命お母さんザルにつかまっている所がかわいかったです。ただ飼育・保護をするだけでなく野生のモンキーに近づける活動・工夫などをしていた所がすごいと思いました。
霊長類はすがたがにているけれど、それぞれ鳴き声や住む環境、むれでの上下関係などがちがっているところに気づくことができました。
バスの中でのゴミのクイズや山や琵琶湖の話もおもしろかったです。
人間とモンキーたちが安心して一緒にくらせる自然環境を作っていくことが大切だとわかりました。